



# 風水害から身を守る

## ●風水害時の防災情報と取るべき行動

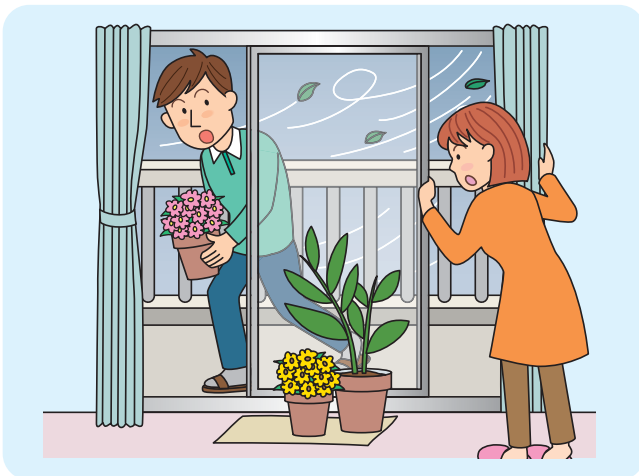
大雨時の気象情報、防災情報をまとめたものです。これらの情報を参考に、自ら情報を収集し、自主的避難を心がけましょう。(大雨の降り方によって、発表される気象情報や避難情報などの順番が異なることがあります)

### ●気象情報

警報が発表されたときは河川の水位情報や土砂災害の情報などに注意しましょう。

大雨注意報・洪水注意報	大雨警報・洪水警報	特別警報	記録的短時間大雨情報
<p>大雨などにより、災害が起こるおそれのあるとき</p> 	<p>大雨や洪水などにより、重大な災害が起こるおそれがあるとき</p> 	<p>警報の発表基準をはるかに超える豪雨などが予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっているとき</p>	<p>大雨警報発表中に数年に一度しか起こらないような短時間の猛烈な雨を観測したとき</p>
<p>とるべき行動</p>	<p>とるべき行動</p>	<p>とるべき行動</p>	<p>とるべき行動</p>
<p>気象情報に注意する。</p> 	<p>河川の水位情報や土砂災害の情報、避難に関する情報に注意する。</p>	<p>直ちに命を守る行動をとる(避難所へ避難するか、外出することが危険な場合は家の中で安全な場所にとどまる)。</p>	<p>外出は控える。屋外にいる時は、強固な建物や少しでも高いところなど、安全な場所へ移動し、とどまる。</p>

### ●暴風情報



- 屋外の飛散しやすいものを部屋に移動する。
- 雨戸を閉める。
- 外出は控える。

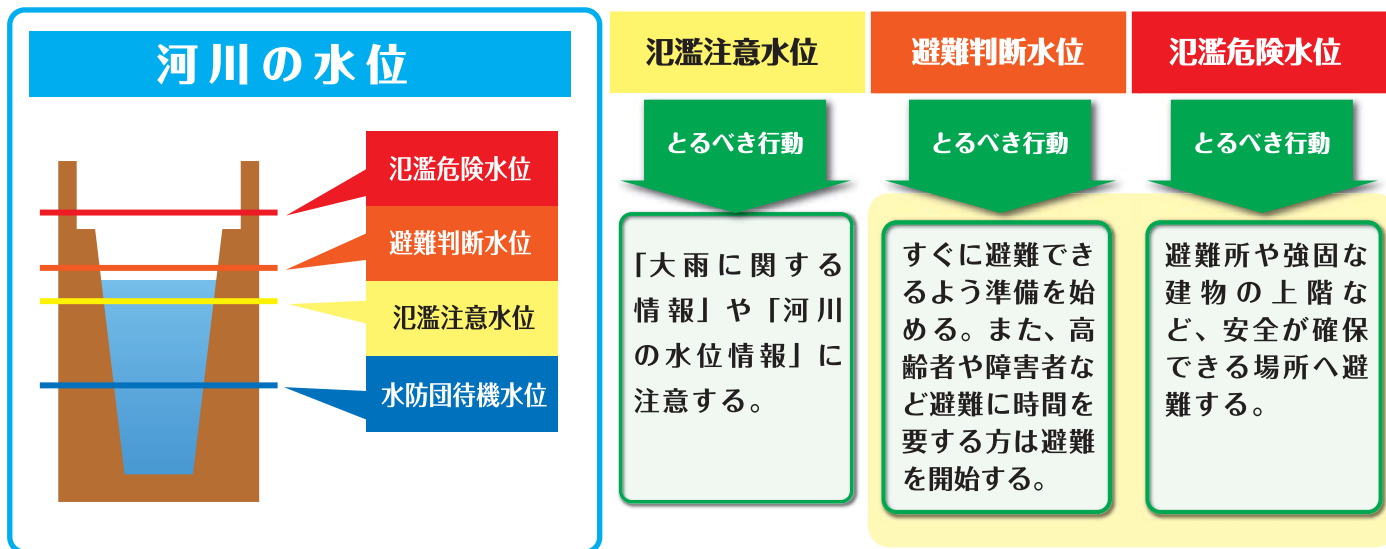
### ●高潮情報



- 湾岸地域に近づかない。
- テレビやラジオなどの情報に注意する。

## ●河川の水位情報

河川の水位情報は、河川の氾濫に対する避難の目安となる情報です。河川の水位は、国や府、市などが、テレビやインターネットで公開しています。なお、河川の水位を見るためなど、堤防や河川に近づかないようにしましょう。



※住居の位置や構造、浸水の状況によって「自宅外への避難」「自宅から外へ出て避難所などへ避難する」必要性は異なりますので、冷静な判断が重要です。

## ●土砂災害情報

大雨による土砂災害の危険度が高まったとき、土砂災害警戒情報が気象台と大阪府から共同発表されます。堺市では、土砂災害警戒情報が発表されている場合、大雨が降り続けているときなど土砂災害の危険が高まっている時には、防災情報メールや屋外スピーカーなどで避難を呼びかけます。

また、市からの避難の呼びかけがない場合でも、土砂災害の前兆現象があれば、安全が確保できる場所に避難しましょう。避難ができない場合は、「がけと反対側の部屋に移動すること」や「自宅内の上階へ移動する」など命を守る行動をとりましょう。

### 前兆現象

#### がけ崩れの前兆現象



#### 土石流の前兆現象



#### 地すべりの前兆現象

